

誰が心地よいまちへ：平川市のたばこ対策と受動喫煙防止

令和元年第4回定例会 一般質問より（市民向けハイライト）

本資料は、喫煙者と非喫煙者の双方が快適に暮らせる環境づくりに向けた、市議会での議論と今後の具体的なアクションを分かりやすくまとめたものです。

Gemini Notebook

市民の声が、議論の出発点に。



「お盆に帰省した際、平川あどの祭りでの無秩序な喫煙に驚愕しました。今後、平川市のねぷた祭りを盛り上げてメジャーにしていきたいのであれば、まずは喫煙しない人のことを第一に考え、受動喫煙対策（分煙）の周知・徹底を図っていくべきではないでしょうか。」

—— ある市民からの手紙より

「マナー」から「ルール」へ。
公共の場における新たな環境づくりが急務となっています。

Gemini Notebook

平川市の現状：目標値との間に「5.7%」の壁

現在（平成30年）の成人喫煙率：17.7%

現在（平成30年）の
成人喫煙率：17.7%

24.7%
25.9%
23.8%

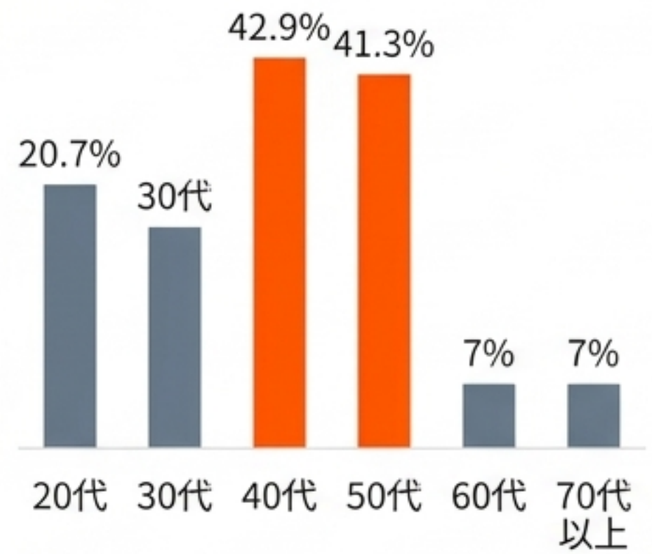
21.2%
21.6%
19.8%

17.8%
18.0%
18.2%

目標とのギャップ：
5.7ポイント

市の目標値：12.0%

市の目標値：12.0%



Insight

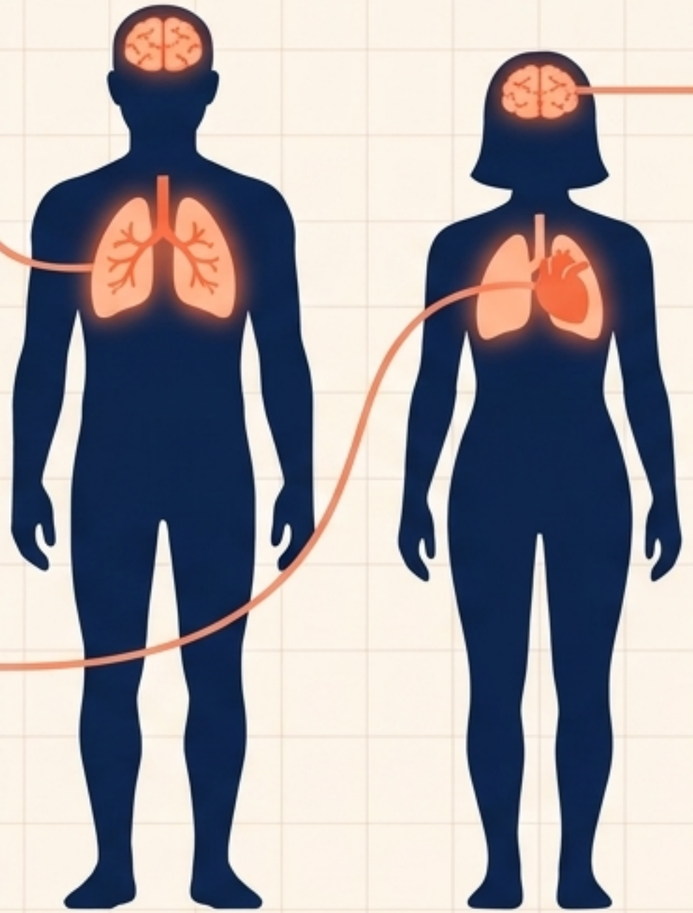
働き盛りの世代（40〜50代）の喫煙率が高い傾向にあり、18%前後で停停滞中。健康寿命ナンバーワン実現のため、ここへの介入が急務です。

Gemini Notebook

受動喫煙の本当の怖さとは？

肺がん:
1.3倍
のリスク

虚血性心疾患:
1.2倍
のリスク



脳卒中:
1.3倍
のリスク

⚠ 乳幼児突然死症候群（SIDS）のリスクは4.7倍



受動喫煙がなければ、全国で年間 約15,030人 の命が救われると推計されています。

Gemini Notebook

ルールが変わる：青森県独自の厳しい新条例へ

	国の改正健康増進法	青森県独自の受動喫煙防止条例（案）
第1種施設 （学校・病院・行政機関）	敷地内禁煙（喫煙場所設置可）	**敷地内禁煙（喫煙場所設置不可・より厳格）**
第2種施設 （飲食店・ホテル・事務所）	室内禁煙（専用室は可）	**室内禁煙（専用室も不可）**
その他屋外 （公園・通学路）	周囲の状況に配慮	**受動喫煙が生じないよう特に配慮**



子どもと妊婦を受動喫煙から守る環境整備が、県全体の最優先事項となります。

Gemini Notebook

議論1：禁煙したい人をどうサポートするか？

議員の提案

- 禁煙外来の医療費自己負担分を半額補助（上限1万円）。
- 「ひらかわ健康ポイント」と連動し、禁煙達成でポイント付与（例：共通入浴券のチャンス）などのインセンティブを！

市の回答

- 喫煙率17.7%からの改善には、こうした「きっかけ作り」が非常に有効だと認識。

今後のアクション

屋内禁煙の義務化で市民の禁煙機運が高まるため、医療費補助などの支援策導入を前向きに検討していきます。

Gemini Notebook

議論２：公共施設に「喫煙所」を作るのはなぜ？

市民の疑問

県の条例が厳しくなるのに、なぜ市役所や体育館など8カ所の公共施設に新しい喫煙所を建設しているの？取り壊すの？

市の回答

取り壊しません。目的は「完全な分煙」です。

Zoning / Separation



安全な動線（非喫煙者）

隔離された喫煙所（完全分煙）

明確に隔離された喫煙所を設けることで、非喫煙者の安全な動線を確保し、受動喫煙を徹底的に防ぎます。

Gemini Notebook

議論3：ねぷた・あどの祭り等の観光地での対策は？

これまでの課題

Before



喫煙所の不明確さ、
受動喫煙の懸念

今後の具体的なアクションプラン

After



事前周知：チラシへの喫煙場所の明記と、会場でのアナウンス徹底。

参加者への指導：祭りの参加団体（代表者会議等）を通じ、所定場所以外での喫煙禁止を徹底。

猿賀公園などの観光地：恒久的な公衆喫煙所の設置も視野に入れつつ、まずは来場者のマナー啓発と明確なルール化を進めます。

Gemini Notebook

まとめ：平川市が目指す「たばこ対策」3つの柱



柱1：教育・啓発

健診や地域イベントでの健康リスク（副流煙の危険性）の周知徹底。



柱2：禁煙支援

禁煙外来の受診推奨と、医療費補助・健康ポイント付与などのインセンティブ制度の検討。



柱3：環境整備・分煙

公共施設や祭り会場における、非喫煙者を守るための厳格なゾーニング（完全分煙）の実施。

誰もが心地よいまちづくり
（A Comfortable City for All）

Gemini Notebook

「いきいき健康長寿のまち」へ向けて



平成30年度、平川市は転入者が転出者を上回る「転入超過（＋63人）」を達成しました。
子育てや教育環境が評価されている素晴らしい成果です。
この魅力的なまちをさらに発展させ、ねぷた祭りなどを全国規模にしていくためには、
喫煙者も非喫煙者も互いを尊重できる「安全で心地よい空間づくり」が不可欠なインフラとなります。

地道なルールの徹底と相互理解の積み重ねで、
平川市をさらに住みよいまちへとアップデートしていきましょう。

Gemini Notebook